

目的 バイアス裁ちのボーカラーの場合、着用するにしたがい、カラーが伸び、幅が細くなったり、ねじれを生じることが多く見られる。

そこで今回は、着用後どうしてねじれを生じてしまうのか、原因を追求し、つとめてねじれの少ないボーカラーの製作を試みた。

まず、布目の方向、裁断後布地の処理方法などに着眼を置き次の実験を行った。

方法 試験布として ボーカラーのブラウスを製作することを前提に考え、薄地織物を選んだ。基礎実験としては試験布を正方形に裁ち、そのまま対角線を垂直にして垂らした場合と、一定の幅をもった左、右45°方向のバイアス地を長さ方向に垂らした場合についての変形状態を測定した。そしてこれらの結果を踏まえて、実物製作を行ない、結びと解きを繰り返して、ボーカラーの変形状態を観察した。

結果 結び、解きを繰り返しても、比較的伸びやねじれの少ないボーカラーの製作は、布地のバイアス方向で、伸びの小さい方を自重程度伸ばした上で衿布を裁ち、製作するのが好ましいと見られる。